



町民教養講座の講師を招いて、茶道教室とペーパーフラワー教室を体験



食事以外に掃除・買い物・洗濯も、もちろん「自分たち」で行うことが基本。親のありがたさが身に染みます。また、夜には学習の時間が設けられ、各自、学校の宿題や予習・復習をしました



最終日の閉校式。吉田塾長から一人ひとりに修了証が手渡されました。仲間と過ごした日々を振り返りながら、最後は参加者全員で記念撮影



みんなと一緒に食べるご飯の味は格別「おいしいなあ!」



～子どもたちの感想文から一部抜粋

に ぎりまんま塾では、ほかの小学校の友達がたくさんできたと、お母さんの大変さが分かりました。

一番楽しかったのは、みんなで料理を作ったことと、4日目のペーパーフラワーです。ペーパーフラワーは思ったよりむずかしかったけど、きれいなユリの花になりました。

わたしは、みんなで協力することと、親の大変さを学びました。これからは親に言われなくて、自分でやることは自分でやって、進んで親の手伝いなどをしたいです。

【小学校6年生・女子】

わ たしは、にぎりまんま塾でお母さんたちの大変さ、みんなで協力しあうことの大切さが分かりました。

5日目は給食がなかったの、自分たちで弁当を作りました。作るのから弁当につめるまで自分たちでやらないといけないので、すごく大変でした。

5泊6日、身の回りのことをぜんぶ自分でやって、すごく大変でした。ほかの小学校の人たちとも協力してできました。これをふだんの生活に生かしていきたいと思います。

【小学校6年生・女子】

ぼ くは、はじめて自分でせんたくしたり、そうじをしました。やっと、親のくろうをしりました。

1日目は整理せいとんもきちんとやりましたが、3日目くらいになるとちょっときたなくなりました。

自分でごはんも作りました。班の人と

力をあわせて30人分のごはんを作りました。みんな、おいしいと食べてくれてうれしかったです。

【小学校5年生・男子】

初 日はみんなと仲良くなれるか心配でした。でも、話しかけてみると話しがはずんで楽しかったです。

10月18日は、夕食作りでたまねぎを切っていて泣いてしまいました。はじめての夕食作りは、思ったよりすばやくできました。夕食が終わったあと、茶道教室をやってお茶とおかしはおいしかったのですが、足がしびれてしまいました。

10月19日は買い物に行きました。物を買うとき、計算しながら買わないといけないのでたいへんでした。

【小学校6年生・女子】

第一回通学合宿 in 公民館

『にぎりまんま塾』

10・17▼22

十月十七日（日）から二十二日（金）までの五泊六日の日程で、第一回通学合宿『にぎりまんま塾』が公民館で行われました。管内五つの小学校から五、六年生二十一人が参加し、仲間との共同生活をおしてたくさん大切なことを学びました。

にぎりまんま塾は、親元を離れた子どもたちが協力しながら寝食を共にすることで、協調性や豊かな人間性をはぐくみ、また、普段は親がやってくれていることを自ら体験することで、自主性や自立性を養うと共に、家族のありがたさや大切さについて考えてもらおうと始まりました。

▼「自分たち」で

合宿中、子どもたちは公民館に寝泊りし、身の回りのことすべてを「自分たち」で行います。それだけに、一日のスケジュールはとてもハード。

早朝五時四十五分に起床して朝食を準備し、後片付けと館内を清掃してから学校へと登校。帰って来ても、食材の買い出しや夕食の準備、洗濯、夕食後の片付けなど、やることはたくさんあります。夜には町民教養講座の体験学習、自主勉強、一日の反省を行う班ミーティングなどがあり、午後十時にやっと就寝となります。



そんな子どもたちの生活をサポートしたのは、吉田保之塾長（菖蒲川小学校校長）をはじめとする二十三人の指導員です。公民館の職員のほか、子ども会育成連絡協議会や連合PTA、食生活改善推進員、栄養士など、幅広い分野のスタッフが子どもたちのために集まりました。

指導員に見守られながら、子どもたちは互いに協力し合って六日間の研修を無事修了。閉校式を迎え、修了証を手にした子どもたちの表情は、すべてのことを「自分たち」でやり遂げたという、自信と満足感に満ちていました。



みんなで協力！食事の準備



慣れた手つきでトントン！



チョットだけ味見アーン



食器の汚れは落ちたかな？